

報道資料

令和7年11月26日

奈良県立美術館

担当：学芸課長 山本

電話：0742-23-3968

アーティストが作品を持ち込み、生徒と対話する出張授業を実施

～現代美術の鑑賞を通して「自分なりの見方・考え方」を探求します～

奈良県立美術館は、生徒に美術鑑賞の楽しみ方を伝えるために、12月1日(月)に、奈良県立奈良高等学校(奈良市)にて、奈良県を拠点に活動する現代美術作家・赤松加奈さんを講師に迎え、自身の作品を題材に対話型鑑賞の授業を実施します。

この授業では、生徒は事前に学芸員が講師になりアートカードを使った対話型鑑賞を学びます(11月27日実施予定)。そして、本授業でアーティストが持ち込んだ本物の絵画作品を題材に、生徒がアーティストと共に“作品を見て感じること”を対話によって掘り下げていきます。本物の作品とアーティストとの交流を通して、生徒は「自分なりの見方・考え方」を探求していきます。

赤松さんは家業である農業の経験から見つけた自然の中にある生と死や、幼子との日々の生活の中で生まれた感覚や経験を基に絵画を制作し、また高校やフリースクールなどで美術教師として子どもたちと絵を通して交流をしています。

本事業は今年度から奈良県立美術館が始めた学校連携事業で、アーティストを学校に派遣して特別授業を行う「ミーツ・アーティスト in スクール」の一環で実施するものです。ぜひご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

《ミーツ・アーティスト in スクール「アーティストと共に現代美術作品を鑑賞する授業」》

日時： 令和7(2025)年11月27日(木)、12月1日(月)

取材可能日時： 12月1日(月) 11:30～12:15(4校時目)

会場： 奈良県立奈良高等学校 美術室(奈良県奈良市朱雀2丁目11番地)

実施内容：高校2年生(20人)を対象にアーティストと共に対話型鑑賞の授業を行います。

主催： 奈良県立美術館

備考： 高校での実施につき、取材をご希望の場合は、お手数ですが前日までにご連絡下さい。また、学校の駐車スペースに限りがあるため、お車で取材にお越しの場合は、事前にお申し出ください。



鑑賞予定の作品

《Yellow Days》

2017年、1167×920(mm)

アクリル、キャンバス、パネル

■講師プロフィール



赤松加奈(1990年奈良市生まれ、天理市在住)。2015年京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻ペインティング領域修了。近年の展示に、個展「奈良ゆかりの現代作家展 02 赤松加奈「こんにちは、　　」」(2025年、奈良県立美術館ギャラリー)などがある。2026年1月10日(土)よりなら歴史芸術文化村で「奈良ゆかりのアーティスト交流プログラムvol.8」に参加。

報道関係のみなさまからのお問い合わせ先：奈良県立美術館 学芸課長 山本雅美

E-mail yamamoto-masami@office.pref.nara.lg.jp／電話 0742-23-3968